

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【公開番号】特開 2016-71055 (P2016-71055A)
 【公開日】平成 28 年 5 月 9 日 (2016.5.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-027
 【出願番号】特願 2014-198823 (P2014-198823)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 5 0

G 0 3 G 15/01 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 29 年 6 月 29 日 (2017.6.29)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

駆動源の駆動力が伝達される駆動出力軸の軸端部に取り付けられ、軸方向に突出する駆動爪部を有する駆動側連結部材と、
 前記駆動側連結部材と軸方向から対向するように、従動軸の端部に取り付けられ、軸方向に突出する従動爪部を有する従動側連結部材とを備えた駆動伝達装置において、
 前記駆動爪部および前記従動爪部の少なくとも一方は、回転方向一端側から他端側に向けて徐々に軸方向高さが低くなるような形状をしており、
 前記駆動爪部と前記従動爪部とが軸方向から当接したとき、線接触または点接触となるように、前記駆動爪部および / または前記従動爪部を形成したことを特徴とする駆動伝達装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の駆動伝達装置において、
 前記駆動爪部および前記従動爪部は、回転方向一端側から他端側に向けて徐々に軸方向高さが低くなるような形状をしており、
 前記駆動爪部の前記従動側連結部材と対向する対向面の軸方向に垂直な仮想垂面に対する傾斜角度と、前記従動爪部の前記駆動側連結部材と対向する対向面の軸方向に垂直な仮想垂面に対する傾斜角度とを互いに異ならせたことを特徴とする駆動伝達装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の駆動伝達装置において、
 駆動伝達時に前記駆動爪部の前記従動爪部に当接して該従動爪部に駆動を伝達する駆動伝達部、および、駆動伝達時に前記従動爪部の該駆動伝達部が当接する被駆動伝達部が、回転方向に対して直交する面であることを特徴とする駆動伝達装置。

【請求項 4】

駆動源と、
 該駆動源の駆動力を駆動対象回転体に伝達する駆動伝達手段とを備えた駆動装置において、
 前記駆動伝達手段として請求項 1 乃至 3 いずれかに記載の駆動伝達装置を用いたことを特

徴とする駆動装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の駆動装置において、
前記駆動源として、ステッピングモータを用い、
前記駆動対象回転体が、付勢手段による付勢力により当接する部材を直線的に往復移動させるカムであって、
前記駆動爪部と前記従動爪部とのガタを 2 mm 以下としたことを特徴とする駆動装置。

【請求項 6】

請求項 4 または 5 に記載の駆動装置を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の画像形成装置において、
感光体と、
該感光体の画像を転写体に転写する転写部材と、
前記転写部材を保持し、支持軸に揺動自在に支持され揺動することにより前記転写部材が接離する揺動部材、前記駆動装置により回転駆動されるカム、および付勢手段の付勢力により一端が前記カムに当接し、カムの回転により往復移動することで、前記揺動部材を揺動させるスライド機構を有する接離機構とを備えた画像形成装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の画像形成装置において、
前記感光体を備え、互いに異なる色の画像を形成する複数の画像形成部を備えてカラー画像形成手段と、
前記感光体を備え、白色または透明色の特色画像を形成する特色画像形成部とを備え、
前記接離機構は、前記特色画像形成部の感光体の特色画像を前記転写体に転写する特色転写部材を接離させることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の画像形成装置において、
前記特色画像を形成する特色画像形成モードと、その他の画像形成モードとを有し、特色画像形成モードのとき、前記特色転写部材を前記特色画像形成部の感光体に当接させ、その他の画像形成モードのとき前記特色転写部材を前記特色画像形成部の感光体から離間するように前記接離機構を制御する制御手段を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために、請求項 1 の発明は、駆動源の駆動力が伝達される駆動出力軸の軸端部に取り付けられ、軸方向に突出する駆動爪部を有する駆動側連結部材と、前記駆動側連結部材と軸方向から対向するように、従動軸の端部に取り付けられ、軸方向に突出する従動爪部を有する従動側連結部材とを備えた駆動伝達装置において、前記駆動爪部および前記従動爪部の少なくとも一方は、回転方向一端側から他端側に向けて徐々に軸方向高さが低くなるような形状をしており、前記駆動爪部と前記従動爪部とが軸方向から当接したとき、線接触または点接触となるように、前記駆動爪部および / または前記従動爪部を形成したことを特徴とするものである。